

夢をもち 高め合う子

令和6年度 磐田市立磐田北小学校だより第4号 6月13日発行



平和への思いをつないでいきます

昭和20年（1945年）5月19日、戦争の爆撃により、本校の子どもたち28名と引率教員田中小苗先生が命を落としました。本校では、5月を平和月間と位置付け、学級活動、道徳、総合的な学習の時間などに平和について学びました。3・4年生は退職女性教員の会の方から、5・6年生は地域在住の尾崎さんから、当時のお話をお聞きしました。



また、慰霊祭では、児童の代表として6年生の勝又寛太さんが、平和集会では、6年生大霜愛実さんが以下のような平和への思いを述べました。

寛太さん： 最上級生の自分たちができることは、ぼくたちの学校をいじめなどがなく、みんなが笑顔になれるようにしていくこと。それがいずれ日本や世界の平和につながっていくといいなと思う。

愛実さん： 毎年平和学習を積み重ねていき、「どうすれば平和な世界を作れるのか」と考えるようになった。最上級生として北小での悲しい過去を下級生に伝え、みんなでその答えを見つけられたらいいと思う。

今後も、教えていただいたことを生かし、語り継ぎ、平和への思いをつないでいきたいと思います。



校長より： 小学生の皆さんにできることは、周りにいる家族、友達、先生等を大切にすることです。そして、自分のよさを大切にするとともに、周りの人が優しい気持ちになれる言葉をかけてください。心も身体も健康でいることで、平和な学校、学級をつくっていきましょう。

【学習の様子】

1年生

- 平和について考えました。
 - ・仲良くします。
 - ・優しくします。
 - ・協力します。
 - ・楽しく生活します。 など、自分たちができることを考えました。

- みんなで子供厄除け地蔵に行き、一人一人が平和を祈りました。



2年生

- 自分の命をもっと大切にしたいです。
- 今、生きていることは幸せなんだなと思いました。
- 戦争はもう二度としたくないな。
- 平和のために、優しい言葉を使います。
- 友達や家族と仲良くします。



3年生

3年生は、平和講演会では、戦時中の暮らしや「むらさき花だいこん」の話をお聞かせいただきました。子どもたちからはたくさんの質問が挙がりました。

感想には、「『戦争は人の命を奪う』という言葉が心に残った。」「昔の戦争の話聞いて、当時の人たちの気持ちを知った。」「戦争をやめることはできなかったのか。戦争はしてはだめだと思った。」など、3年生の子どもたちが平和について考える機会となりました。

4年生

- 平和になるって大変だと思ったので、当たり前平和を守っていきたくて強く思いました。
- 戦争の話聞いて、今は幸せ、今は平和なんだなと思いました。
- これからは、自分たちでこの世界を守っていこうと思いました。



5年生

戦争を体験した尾崎さんのお話の中で、子どもたちは、戦時中の教育や生活、日本に落とされた爆弾などに興味をもったようでした。「あんなに大きな爆弾が落ちてきたらこわい」「当時のサツマイモは味がなくて言っていたけど食べ比べをしてみたい」など様々な感想が聞かれました。各学級では、「戦争」という言葉からイメージをふくらませることで、自分をもっと知りたいと思ったことを課題として、探究活動を行っています。今後は調べたことを伝え合うことで、平和への関心が高まることを期待しています。

6年生

6年生は、尾崎さんに講和をしていただいたり、折り紙で鶴を折って職員玄関に飾ったりして、平和への意識を高めました。また、6年間学んできた戦争についてまとめ、1年生に語り継ぐ活動を行っています。

子供たちは平和学習を通して、「二度と繰り返してはならない。」「日本国憲法などがあるけど、戦争が自分には関係ないわけではないと感じることが大切だと思う。」「戦争の辛さを知らない子供たちに繰り返してほしくないから、語り継いでいる。」など感想を持ちました。

黙祷を捧げました。→

